

## 平成 24 年度第 2 回緑区地域福祉計画推進協議会議事要旨

### 【開 催】

開催日時 平成 24 年 8 月 25 日（土）14：00～16：00

開催場所 緑保健福祉センター2階 大会議室

出席者 委員 19 名中 16 名出席、手話通訳者 2 名  
事務局 8 名（緑保健福祉センター長、高齢障害支援課 2 人、緑区地域振興課 1 名、社協緑区事務所 2 名、市地域福祉課 2 名）

### 【次 第】

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 新委員紹介
- 4 議題
  - (1) 平成 24 年度緑区地域福祉計画の推進について
    - ①報告事項・各委員より報告
    - ②協議事項・各小委員会での協議の報告
  - (2) 「みどりのきずな」18 号の承認について
- 5 その他
- 6 閉会

### 【議事及び質疑要旨】

#### 議題（1）平成 24 年度緑区地域福祉計画の推進について

中村副委員長の進行により各委員から活動報告があった。

##### ①報告事項

主な発言内容は以下のとおり。

（中村副委員長）資料 1 に沿って進めたい。私の資料は追加資料として配布している。  
おゆみ野地区から順番に報告してもらいたい。

（田宮委員）7 月 7 日に戦争体験を語る会が終わった。みどりのきずな第 18 号に詳細は出ているので確認して欲しい。

（山田委員）社協おゆみ野地区部会の 8 月は全ての委員会が休みだった。

（松戸委員）おゆみの地区連協は 8 月 4 日に第 25 回夏祭りを開催した。例年より参加者が多かった。特に子どもの参加が多かった。また避難所マップのおゆみ野版を作成する。9 月第 1 日曜日の地区連協会議で計画を進めていきたい。防災マップについては、川瀬前会長が区役所と話しており、明德短大と 5 月、7 月、8 月の 3 回打ち合わせを行っている。次回は 9 月 14 日に開催。年内に素案を立ち上げ、来年度にはマップを作成していく予定。

（中村委員）502 地区民協は、8 月と 9 月に敬老会の準備をしている。16,000 世帯数を

508 地区とわけて準備を進めている。75 歳以上の対象者について、千葉市から助成金をもらい 1,658 名に案内を出している。9 月 17 日の敬老会で 27 箇所自治会での敬老会を開催する予定である。敬老会を開催しない地区は、記念品を配布する。自治会未加入の 757 名は民生委員で記念品を用意している。9 月 17 日にむかって自宅へ届けている。

(曾志崎委員) 高齢者宅訪問時に緊急カードが冷蔵庫に張ってあるか確認しながらまわっている。2 人の高齢者世帯や日中独居の高齢者にも配布している。訪問時にエアコンをつけない高齢者に熱中症対策を説いている。

(本田委員) 8 月はほとんど動いていない。7 月終わりから 8 月に掛けて敬老会の基礎データ集めを民児協と一緒にいった。椎名地区は緑区の防災訓練の担当になっている。今までは椎名小学校で行っていたが、人口の多い古市場の広場で、263 名の参加で行う予定。

(中村副委員長) NPO として有償運送サービスを実施して 6 年目になる。125 名の高齢者が利用し、その内の 75%が病院通い。今まで赤字の時もあったが、メイン事業になってきているので黒字化を目標にしている。昨年度は、寄贈車両をもらったので黒字だったが、今年度は本当の意味で黒字にしたい。運行頻度にバラつきがある。特に月曜日と木曜日に病院が休みなので利用者が少ない。新規客は月曜日と木曜日の利用者を積極的に勧誘している。去年から引き続いての価格改定の申し出どおり 4 月から実施している。最近ではガソリン代があがってきているので苦しいが、なんとか売上目標を達成できている。

(稲山委員) 土気地区部会は、7 月 8 月のふれあい食事会がお休みだった。いきいきサロンと散歩クラブ、子育てサロンは行った。8 月の子育てサロンはお盆で実家に帰る方が多いので、参加者は少なかった。地区部会の広報誌を作成中で 10 月に発行したい。

(齋藤委員) 交通問題プロジェクトはアンケートの結果、採算性が悪かったため、不可能と判断し解散した。本日は、アンケート結果を持ってきた。8 月 19 日の役員会で交通問題については新しい視点で見直すことになった。常に議題にしているが循環バスのようなことが出来るか考えているが見通しが見えない。中村副委員長の活動はいろいろ参考になるので情報を聞いて活かして生きたい。

(中村副委員長) 土気の創造の杜公園で今日と明日サマーフェスティバルを開催している、今日 20 時から花火もあがるので是非参加して欲しい。

(時田委員) 501 地区民児協の緊急連絡カードを、今年は 1 人暮らし高齢者に配布したところ、大変好評だった。来年 5 月の高齢者実態調査の際に高齢者世帯にも配布する予定。

(徳田委員) 老人クラブでは友愛活動と地域の行事に参加しようという目標がある。輪投げ大会を 9 月 9 日に 130 名を集め実施する。10 月 31 日に芸能大会では 200 名参加する予定でいる。グラウンドゴルフを 10 月に行う。警察との連携については交通課・生活安全課の講話を実施する。

(坂井委員) みどりのきずな第 18 号に初めて障害者のコーナーを設けてもらった。身

体障害者に対する知識を持っていない方が多いと思うので少しずつ障害者がいることをPRしていきたいと思っている。たとえば、身体障害者、聴覚障害で補聴器が100万円する品物もある。買えずに悩んでいる人もいると思うので、助金をもらえるようにPRしていきたい。また、今年の12月1日にハーモニープラザで身体、視覚、聴覚障害の担当で福祉大会を行う。誰でも参加できるので皆さんにも参加してもらいたい。

(中村副委員長)

福祉大会の詳細が分かれば今度資料提供してもらいたい。

(委員長)

曾志崎委員、時田委員、中村委員、3者とも緊急カードは同じスタイルなのか。次回皆さんに配布してもらいたい。

(中村委員)

502地区はピンク色と青色で、約2,000世帯分おゆみ野地区にお住まいの65歳以上の方に配布した。

(時田委員)

緑区の民生委員会長会議で様式を交換しているので内容は似ている。色やサイズが違う。501地区が約500世帯分、506地区は750世帯分、507地区はまだ検討中である。

(曾志崎委員)

508地区を参考にして、グリーン色でA5版、400世帯分を配布した。

(委員長)

どの地区でどのくらい配布されたか次回までに事務局は集計してもらいたい。501地区では好評というのは具体的にどういう声があったのか教えてもらいたい。

(時田委員)

家に電話がない方もいたので、何かあったときは連絡票が役に立つと思う。千葉市の緊急通報装置を2人の方へ導入する手続きも手伝った。

(齋藤委員)

交通問題はなかなか難しい。地区連として損益が生じるものを自治会で関わるのが難しい。マイナスのときに自治会で負担できるか確約がとれない。プロジェクトチームもアンケートの結果、料金の設定も含めて損がでるという結論だった。継続しても循環バスを目的としたものは継続不可能という結論になった。何台かのバスを運転手付で調達しようとしたが採算性がつかなかった。ボランティアでやらないと難しい。需要はあると思う。

(委員長)

この問題は3~4年掛かっていて大変だと思うが、反対ではないが課題はたくさんあると思う。新しい方向で行くしかないと思うが他地域の事例を聞いて進んでいってもらいたい。

(齋藤委員)

アンケート結果では1回100円でできないか、定期券は3千円という案だった。しかし実際は、1回180円、定期券は月8千円でないと採算がとれない。バス1ヶ月、運転手付で90万円という予定だった。アンケートでは値段が高いと利用しないという答えが多かった。

(委員長)

土気地区のアンケート結果は、今後考えていくときの視点になる。

(本田委員)

あったほうが良いという意見もあるが月1、2回の利用者が多いと思う。福祉タクシーが良いのではないかと思う。

(委員長)

1区間の値段の問題や赤字の補填などが問題になりそうだ。

(中村副委員長)

高齢者に絞っているのではなんとかやっつけていける。若者は交通手段がある。高齢者はバス停まで歩くのがきつい、自分の家まで来るのがメリット。タクシーだと1回1000円かかる。歩けない方が申し込む。高齢者や障害

者に絞るのはどうだろうか。500円くらいまでなら高齢者も出すのではないかな。

(齋藤委員) そういうことだと思う。実現性がある。需要の面から考えると循環バスだと採算がとりにくい。

## ②協議事項

委員長の進行により協議事項について各委員から発言があった。

主な発言内容は以下のとおり。

(委員 長) 災害マップについて松戸委員から先ほど話があったが具体的なところを伺いたい。

(松戸委員) おゆみ野の50自治会の範囲で、2年がかりで考えている。5月7月8月と明德短大と話をしている。9月にも話し合う。15万円の助成金では足りないので、今後どうするかが課題である。部分的には作ってきている。その段階になったら提示したい。

(委員 長) 鎌取地区の防災マップがある、次回に素案として出したい。事務局で用意してほしい。古市場団地で災害マップがあるみたいだ、次回曾志崎委員に提示して欲しい。鎌取地区と古市場のものを素材にして検討に入りたい。

児童生徒と高齢者施設入所者との交流委員会は7月23日に学校と施設との意見交換を行った。広報紙みどりのきずなにも取り上げた。学校からは①福祉教育の一環として大変良い機会。②核家族化の中で高齢者との触れ合いは素晴らしい出会い。③福祉教育の充実につながる。④書く活動の機会が生まれるという意見があった。施設側からは、①高齢者の方が喜んで参加し、手紙の交流を待ち望んでいる。②普段の生活にない新しい刺激が生まれた。③生活に張りが生まれてきたようだ。④出来たら直接ふれあいの場ができたら良いという意見があった。第3回を12月に開催する予定でいる。見守りネットワーク小委員会については烏山委員から報告してもらいたい。

(烏山委員) 民生委員や自治会長や地区部会とあんしんケアセンターで行っている。実際の見守り活動のやり方は奥が深いので簡単ではない。具体的にとするのはこれからの課題である。地域でどうやるか検討していく段階である。見守りネットワークのイメージ図を何度も修正し作った。見守りを受ける方が自治会や民生委員、地区部会で見守り、あんしんケアセンターも全体を見守り、協力事業所との協力協定も必要とされている。緑区から5万円の予算をもらったので本年度アンケートを行うことで意識調査と、見守りに関する講演会を進めていきたい。民児協には8月理事会に説明した。9月にアンケートを実施、10月に回収、11月に集計、12月に発表していく。

(委員 長) イメージ図等について何か質問等はあるか。

(山田委員) まずやってみないと結果は出ないのでこれでいいと思う。

(中村委員) 民生委員としてイメージが付きやすくなった。

- (烏山委員) アンケートの実施と講演会の開催しかスケジュールは立っていない。
- (中村副委員長) 見守りを「受ける方」と「受けたい方」の違いは、受ける方だと上から目線で受動的だが、受けたい方は能動的な感じがする。
- (烏山委員) そこは明確に出来ないのが現実である。磯辺では受けたい方が手を上げて見守りする人も手を挙げて計画的に活動している、しかし全国的な事例を見ると個別的なものをしなくても自治会が関わって全体で気を配るやり方もあるし、緑区全域では進まないと思う。ある地区では磯辺形式でいいが全部がそうではない。考えていく段階である。手を上げてもらい見守るのは難しい。幸町では計画的な見守りは窮屈だという意見もある。
- (齋藤委員) 自治会と民生委員で要支援者の調査をしているが、それとの関連はあるか。要支援者の調査の際に、見守りを受ける方の個人情報の問題があった。自治会に個人情報はこれまで来なかったが、市から情報がくる仕組みができた。どう関連するか。
- (烏山委員) 現状としては民生委員から自治会への情報はこない。ネットワークをつくるのもこれからである。個人情報についても検討してくのがネットワーク委員会だと思う。
- (坂井委員) 見守りを受ける人と書いてあるが、身体障害者の場合は受けたくないという人も多いはずである。民生委員が対象者に聞いて、連合会に聞くことも必要だと思う。民生委員への学習会も開いてもらいたい。
- (委員長) 受けたい人をはっきりしてすすめてほしいということか。
- (坂井委員) そうである。
- (烏山委員) 一応高齢者を対象にしていた。65歳以下や65歳以上の障害者についてはこれから考えていきたい。
- (委員長) 小委員会を開いている。障害者でも見守りを受けたい方もいるので参加して欲しい。今は見守りを今後どうしていくかの段階的なものであり、決定ではない。緑区統一で行っていくのではなく、地区ごとのやり方があると思う。見守りをなんらかの形で進めていきたいという段階である。
- (坂井委員) 連合会でも考えている。情報交換しながらすすめてもらいたい。
- (委員長) 連合会の考えも出してもらいたい。いい方向で進めていきたい。
- (山田委員) 対象者を絞るのは非常に難しい。そのあたりも小委員会で話し合って一番良い方向を見出していきたい。
- (本田委員) 周り近所がそれとなく見守れば組織化しなくてもすぐできること。近隣の方々がそれとなく見守るのが一番良い。見守りを受ける方という字を消してもいいと思う。
- (委員長) 基本は向こう三軒両隣が一番である。協力事業所との協力関係も進めていきたい。
- (坂井委員) 高齢者のみの世帯というところを、社会的弱者に変えてはどうか。
- (委員長) 括弧付けで今の言葉を補足してはどうか。そのほうが両方いきる。
- (坂井委員) それでいい。
- (烏山委員) そこは検討していなかった。

- (田宮委員) 社会的弱者にすると、乳幼児世帯も入るし高齢者だけのアンケートのため別問題になる。
- (坂井委員) 模範的な見守りを皆さんには作ってってもらいたい。
- (委員長) どのような文言にすべきか
- (山田委員) ある程度やってみようということで当初始まった。高齢者に限っていえば65歳以上の障害者も入るのでこれで十分ではないか。障害者を含んでないわけではない。
- (坂井委員) わかった。
- (委員長) 坂井委員の言いたいこともあるので今後検討課題としたい。これですすめていきたい。これで承認を受けていいか。  
～一同賛成～
- (烏山委員) 8月の民生委員理事会でお願いした。連協には現在お願いしている。
- (時田委員) 501地区はすでに配布して9月に回収する
- (奥田委員) 506地区はどうだろうか。民生委員からの情報がなかった。誉田に介護施設があり、敬老会の記念品の対象にしたらどうかと話があったが、自治会に詳細な話が無かった。
- (事務局) アンケートについて大槻会長には昨日説明した。
- (齋藤委員) 連絡系統として緑区連協からこないとおかしいが、区連協の情報と理解していいか。23地区連については理解した。
- (事務局) 連絡が遅くなって申し訳ない。後ほど説明させてもらう。地区ごとに締め切りがあるので地区ごとに集めていく。
- (委員長) 12月8日までには集計したものを配布したい。この日は15時から講演会を行う。講演会の前に推進協を行いたい。あすみが丘プラザは駐車場がほとんどない。前は小学校の駐車場を借りた。

## 議題(2)「みどりのきずな」18号の承認について

委員長により「みどりのきずな」第18号について説明があった。

主な発言内容は以下のとおり。

- (委員長) この内容でよろしいか  
～一同賛成～

## その他

- (事務局) 12月8日の講演会前に第4回推進協を予定しているが、14時半から講演会の受付なので、推進協は少し早めに行う。日程は10月の推進協で発表する。

委員長が閉会を宣し、第2回緑区地域福祉計画推進協議会は散会。